

「サイエンスカフェ in 静岡」第 189 話 (2025 年 11 月 20 日)
テーマ：「植物のいのちをつなぐ仕組み～重複受精と細胞のはたらき」
講師：須崎 大地 先生
(静岡大学理学部生物科学科 助教授)

■ 参加人数 33 名

■ アンケート回答人数 25 名

■ ご職業

会社員：5	公務員：1	教員：2
自営業：1	主婦・主夫：3	
小学生：0	中学生：0	高校生・高専生：2
大学生・大学院生：1	その他：10	

■ 年齢

19 歳以下：2	20 歳代：1	30 歳代：0	0
50 歳代：4	60 歳代：8	70 歳以上：10	不明：

■ ご住所

葵区：9	駿河区：4	清水区：4	焼津市：3
藤枝市：3	島田市：0	富士市：0	浜松市：1
静岡県内その他：1	静岡県外：0		

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。(複数回答有)

- ・継続参加による周知：18
- ・静大のサイエンスカフェホームページ：1
- ・サイエンスカフェのポスター（学校や1スで掲示されているもの）：4
- ・SNS を通じて（サイエンスカフェの Twitter を含む）：0
- ・職場などの情報回覧：0
- ・知人の紹介：1
- ・その他：1

■ 講演内容についてのご意見や感想・質問などをご自由にお書きください。
(19 歳以下)

- 科学の文字通り、最先端が知れてとても面白かったです。
- 12 月も楽しみです。

(50 歳代)

- 難しい話でしたが、講話後の質問についてとても興味深いと思いました。
- 抽象的にわかりました。長い間苦心された成果と思いました。パラフィンを切断+光顕の時代とは隔世の感があります。Polygonum 型以外の変わった雌性配偶体がどうなっているのか知りたくなりました。
- 映像をまじえてのお話で興味深かったです。

(60 歳代)

- 難しかったです。少し勉強してみることにしました。
- 被子植物にバックアップ機能があるのには驚いた。
- 動画があったのはわかりやすかった。今、大学の研究は、なかなか難しいところがあると思っていますが、私たちが協力できることはあるのでしょうか。この先ノーベル賞授賞もないかも知れないとニュースで聞きました。
- 食料生産のために日本で一番効率がよい食べ物はお米です。
- 面白いお話でした。

(70 歳代)

- 分からないところもありましたが、大変勉強になりました。
- 本日の講義とても大変な研究であり、レーザーで助細胞を破壊するなど集中力・根気強さが必要であり、苦労されていると感じました。花粉の受精の仕組みを詳しく観察されて、人類の食料確保に貢献できる日を願っています。
- すばらしい研究の講義ありがとうございました。日本では基礎研究に対する研究費が十分でないとのこと。このような基礎研究を思いっきりできるような日本になってほしいものです。
- 植物受精のこと。これほど、次の世代につながるメカニズムがあってバックアップ機能もあるとは驚きです。子孫を残すことに対するすごいとなみをしることができました。植物をばかにできない。最後の方でおっしゃった基礎研究の大切さはもっともだと思えます。